

2023年5月～2023年11月に当院で鎮静剤使用下にて
下部内視鏡もしくは超音波内視鏡検査を受けられた方へ

0. 研究課題名

内視鏡下における鎮静剤および鎮痛剤に伴う有害事象の検討

1. 研究の対象

2023年5月～2023年11月に当院で鎮静剤使用下にて下部内視鏡もしくは超音波内視鏡検査を受けられた方

2. 研究の期間

研究倫理審査委員会承認後 ～ 2023年12月31日

3. 研究目的および意義

近年、内視鏡検査をされる際に、鎮静下での内視鏡検査の需要が高まる中、鎮静剤に加え鎮痛剤を併用する方が増えています。検査後に嘔吐などの有害事象から、検査室からの退室までに時間を要するケースが少なくありません。本研究では、検査後に嘔吐などの症状が発生した方のリスク因子を明らかにすることで、患者さまに負担のない検査実施の構築を目的としています。

4. 研究の方法

後ろ向き観察研究

5. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さまの電子カルテから、検査時に使用した鎮静剤・鎮痛剤の種類（ペンタゾシン、プロポフォール、ミダゾラムなど）や投与量、周術期合併症の有無、検査時間、検査終了から退室するまでの時間を調査させていただきます。

6. 研究組織

研究責任者

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 消化器・内視鏡内科 保坂 祥介

研究分担者

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 消化器・内視鏡内科 小野 敏嗣

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 消化器・内視鏡内科 深川 一史

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 消化器・内視鏡内科 羽鳥 清華

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 消化器・内視鏡内科 大隅 瞬

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

研究責任者：

消化器内視鏡・内科 保坂 祥介

電話 03-3964-1141 (平日 9 : 00~17 : 00)